

調査地区の写真



信信信F1 寺泊町水道付近 左岸 0.5~2.0km (下流側から上流を望む)

ヤマグワ林やタチヤナギ林を主とした樹林とヨシ群落が広くみられる。所々に凹地があり湿地となっており、ツルアブラガヤ、ヤガミスゲ、タコノアシなどの湿生植物が生育している。

調査地区の写真



信信信F2 馬越島 中州 2.0~4.0km (上流側から下流を望む)

広い中州で水田として広く利用されている。上流部と下流部はオニグルミ林やカワヤナギ林となっており、エビネやトモエソウなどの稀少種も多く生育している。

調査地区の写真



信信信F3 与板橋付近 右岸 3.5~5.5km (上流側から下流を望む)

オギ群落が広くみられるが、与板橋の下流付近では、オニグルミ林やカワヤナギ林などの樹林がみられる。これら樹林内の凹地は湿地になっておりヒメミソハギ、オオマルバノホロシなどの湿地性の植物が生育している。

調査地区の写真



信信信F4 信濃川大橋上流 右岸 11.0~12.0km (下流側から上流を望む)

水田や畑地として広く利用されている。榑吉川沿いはヤマグワ林やタチヤナギ低木林がみられる。

調査地区の写真



☆信信信F5 長岡大橋下流 左岸 14.1~16.0km (15km付近堤防上から上流を望む)

水田や畑地として広く利用されている他、オニグルミ林やシロヤナギ林などの樹林も広くみられる。耕作地と樹林との間には小河川が流れ、その河口付近には泥湿地があり、ツルアブラガヤなどの湿性植物が多く生育している。

調査地区の写真



☆信信信F6 長岡大橋付近 右岸 15.5~16.7km (上流側から下流を望む)

「長岡水辺プラザ」として水辺は公園として整備されている。水際の泥溜まりにはタコノアシやツルアブラガヤなどの湿生植物が多くみられる。また、大きな中州があり、そこにはオニグルミ林やタチヤナギ低木林がみられる。

調査地区の写真



信信信F7 渋海川合流地点付近 左岸 19.3~20.3km (上流側から下流を望む)

渋海川と須川の合流付近にあたり、須川の河口付近には泥湿地が広がり、タコノアシ、ミクリ、ツルアブラガヤなどの湿性植物やホザキノフサモなどの水草が生育している。

調査地区の写真



信信信F8 越路橋下流 右岸 23.0~24.5km (上流側から下流を望む)

シロヤナギやタチヤナギからなるヤナギ林が広くみられる。水際の湿地にはノダイオウ、タコノアシ、ミクリなどの湿生植物が、護岸沿いの河跡湖にはクロモやホザキノフサモなどの水草が生育している。

調査地区の写真



信信信F9 越路橋下流 左岸 22.3~24.0km (上流側から下流を望む)

オニグルミ林やカワヤナギ林が広くみられ、それらの林内や林縁部にはオギやヨシの草地がみられる。橋梁付近には人工的につくられたワンドがあり、湿生植物が多く生育している。

調査地区の写真



信信信F10 越の大橋下流 左岸 28.0~29.5km (上流側から下流を望む)

ハリエンジュ林が広くみられ、その後背地には広い河跡湖(五辺の水辺)があり、ミクリ、ヤガミスゲ、ヌカボタデなどの湿生植物が多く生育している。本流からの導水路が整備され、本流からの水が絶えず供給されるようになった。

調査地区の写真



信信信F11 旭橋下流 右岸 33.5~35.5km (旭橋から下流を望む)

河川公園として整備されており、草地の中にハリエンジュ林がみられる。公園より水路をはさみ本流側にはオギ群落が広くみられこれら草地にはタコノアシ、カワヂシャ、ミコシガヤなどの湿生植物が生育している。

調査地区の写真



信信信F12 牛ヶ島排水樋管付近 左岸 39.5~40.3km (39.7km付近国道沿から上流を望む)

段丘斜面が河川にせまった地域で崖下には広い河跡湖があり、湿生植物が多く生育している。高水敷は牧草地として利用されているが、ほとんどハリエンジュやシロヤナギを主とする樹林である。

調査地区の写真



信信信F13 川井樋管付近 左岸 44.5~45.5km (堤防沿いから高水敷を望む)

河川が大きく蛇行した場所で砂礫の堆積した広い低水敷がある。高水敷は水田や畑地として利用されており、上流部のスギ植林には山地性の種が多く生育している。

調査地区の写真



信信信F14 川井樋管付近 右岸 44.5~45.5km (下流側から上流を望む)

河川が大きく蛇行した場所で、河川の流れにより浸食された段丘崖の下に高水敷が広がりシロヤナギ林で被われている。林内や林縁部にはミヤマカワラハンノキ、コシジシモツケソウなどの山地性の植物が多く生育している。

調査地区の写真



信信信F15 魚沼橋上流 左岸 50.3~51.5km (上流側から下流を望む)

高水敷には、シロヤナギ林やハリエンジュ林が広くみられる。真人沢川の合流付近は崖地となっており、ミヤマカワラハンノキ、エチゴキジムシロなどの山地性の種が多く生育している。

調査地区の写真



信信信F16 取安川合流 左岸 54.5~55.5km (下流側から上流を望む)

取安川の河口にあたり高水敷にはハリエンジュ林やシロヤナギ林が広がっている。林内にはミヤマカワラハンノキやドロノキなど山地性の植物もみられる。

調査地区の写真



信信信F17 十日町橋下流 左岸 63.5~64.8km (上流側から下流を望む)

段丘斜面が河川にせまった地域。高水敷は運動公園として利用されておりハリエンジュ林が広くみられる。本流沿いの水際は、石積みによる多自然型工法で整備されており、そこにはタコノアシ、カワヂシャ、ツルアブラガヤなどの湿生植物が多く生育している。

調査地区の写真



信信信F18 姿大橋下流 左岸 68.5~70.0km (姿大橋から下流を望む)

段丘斜面が河川にせまった地域。段丘崖の下は広い河跡湖があり、ヒシで覆われており、タヌキモなどの水草も生育している。高水敷はハリエンジュ林が広くみられる。

調査地区の写真



信信信F19 当間川合流 右岸 71.0~72.2km (上流側から下流を望む)

高水敷にはシロヤナギ林が広くみられドロノキなどの山地性の植物が生育している。水辺には乾燥した河原が広がりツルヨシ群落やカワヨモギーカワラハハコ群落などがみられる。

調査地区の写真



信信信F20 国鉄放水路合流 左岸 71.8~73.5km (上流側から下流を望む)

公園として歩道や水路が整備されている。高水敷はハリエンジュ林により広く覆われており、水路沿いには湿生植物が生育している。河床と高水敷との高低差が大きくなってきているようである。

調査地区の写真



☆信大信F1 大河津分水路河口 右岸 8.4~8.8km (上流側から河口を望む)

ハマゴウ群落やハマヒルガオ、ハマニンニクなどからなる海浜植物群落が広くみられる。後背地は水田として利用されている。

調査地区の写真



信大信F2「史跡夕暮れの岡」右岸 4.6~5.0km (上流側から下流を望む)

広く水田や畑地の耕作地として利用されているが、放棄水田も広くみられ、イヌスギナが群生している他タコノアシも生育している。堤防と水田の間に素掘様の水路があり、湿生植物が多く生育している。

調査地区の写真



信大信F3 大河津分水路分岐点 左岸 0.0~1.0km (上流側から下流を望む)

広く水田や畑地の耕作地として利用されている場所である。固定堰の下流部には泥湿地が広がり、タコノアシ、ミコシガヤ、カワヂシャなどの湿生植物が多く生育している。

調査地区の写真



信魚信F1 田之入川樋管対岸 左岸 5.0~6.0km (下流側から上流を望む)

魚野川の調査区間で最も蛇行の大きい地域である。高水敷はシロヤナギ林やオニグルミ林が広くみられるが、下流側には泥湿地がみられタコノアシ、ノダイオウなどの湿生植物が生育している。

調査地区の写真



信魚信F2 芋川合流 右岸 6.2~7.5km (下流側から上流を望む)

高水敷は、シロヤナギ林に広く覆われているが、下流側には細長いワンドがあり、ヒロハノドジョウツナギ、タコノアシなどの湿生植物が多く生育している。

調査地区の写真



信魚信F3 小出橋下流 左岸 12.5~13.5km (小出橋から下流を望む)

オニグルミ林やシロヤナギ林が広くみられ、林内には山地性の植物が多く生育している。魚野川の調査区間内では特に規模の大きな樹林地である。

調査地区の写真



信魚信F4 八色大橋下流 右岸 17.0~18.0km (下流側から上流を望む)

三用川の合流部にあたり、この上流部から合流付近にかけて湧水の流れ出ている小さな水路がありミクリやバイカモが多く生育している。

調査地区の写真



信魚信F5 天神橋合流 左岸 23.0~23.8km (上流側から下流を望む)

天神川の合流付近にあたり、ミクリやバイカモが多く生育している。ツルヨシ群落やススキ群落などの草地の中にシロヤナギ林が小面積で点在しており、オオバヤナギやミヤマカワラハンノキも多く生育している。

調査地区の写真



☆信魚信F6 八海橋下流 左岸 26.0~27.0km (下流側から上流を望む)

古川と押堀川の合流部にあたり、陸域と水域が入り組んだ環境となっており、植生も多様である。ミクリ類も豊富であり、またバイカモ、イトモなどの水草類も多く生育しており、良好な河辺環境が保たれている。

調査地区の写真



☆信魚信F7 八海橋下流 右岸 26.9~27.8km (上流側から下流を望む)

高水敷はオニグルミ林に広く覆われており、オオバヤナギが混生している。高水敷には湧水が流れ出ている水路がありミクリやバイカモが多く生育している。